

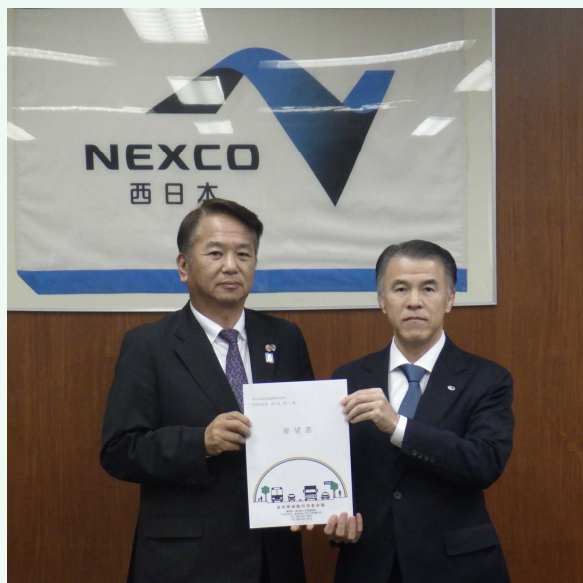
令和7年度 高知県道路利用者会議 要望活動

令和7年11月28日(金)に高知県道路利用者会議(会長：森本 敬一)が、西日本高速道路株式会社(NEXCO西日本)四国支社に対して、高知自動車道の暫定2車線道路区間の早期4車線化について要望しました。

■要望項目

- 平時において利用者の安全性の向上や安定した人流・物流を確保し、自然災害発生時における安全性・信頼性向上のため、高知自動車道の高知ICから須崎東IC間の暫定2車線区間の早期4車線化を図ること

■NEXCO西日本 四国支社への要望



▲左：森本会長、右：喜久里支社長



▲要望活動状況

【提言概要】

- ・ 四国8の字ネットワークは、地域防災力・経済活動を支える社会基盤。
- ・ 能登半島地震でも、道路の被災により救命活動等に支障をきたした。
- ・ 30年内の発生確率が「60～90%以上」となった南海トラフ地震や頻発化・激甚化する豪雨災害等など、高知県を取り巻く状況は厳しさを増している。
- ・ 四国8の字ネットワークを構成する高知自動車道は南海トラフ地震発生時における救援物資等の輸送を担う緊急輸送道路としての機能など、期待される役割が非常に大きい。
- ・ 国土強靱化の観点から、暫定2車線区間の4車線化をお願いする。

【回答】

- ・ 暫定2車線区間の4車線化については、お客様の安全・安心の確保、大規模災害時の早期復旧の観点から重要な施策であると認識している。
- ・ 4車線化の事業化については、国土交通省が公表している「高速道路における安全・安心基本計画」に基づき、社会情勢や財源状況など総合的に判断し、事業箇所が決まる。
- ・ 本日の要望を踏まえ、引き続き、国等関係機関とも課題共有を図っていく。
- ・ 4車線化には、お客様に利用していただくことが重要であり、高知自動車道の利用促進にご協力いただきたい。
- ・ 加えて、道路利用者の皆様には、4車線化の必要性について、引き続き声を挙げていただきたい。